

王寺町国民健康保険  
第2期データヘルス計画  
(概要版)

平成31年3月  
王寺町



<b>第1章 計画策定について</b>	
1. 背景	4
2. 計画期間	4
3. 基本方針	5
4. データヘルス計画の位置づけ	6
5. 実施体制・関係者連携	6
<b>第2章 現状と課題把握</b>	
1. 保険者の特性把握	7
(1) 被保険者数の推移	7
(2) 被保険者数の推計	8
(3) 医療費等の状況	9
(4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	13
① 特定健康診査の実施状況	13
② 特定保健指導の実施状況	14
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	15
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	15
(2) 重症化予防指導事業における一人当たり医療費の推移	17
(3) 疾病別医療費	18
① 大分類による疾病別医療費統計	18
② 中分類による疾病別医療費統計	21
(4) 生活習慣病に係る医療費	26
3. 分析結果に基づく健康課題の把握	28
(1) 分析結果	28
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	34
<b>第3章 保健事業実施計画</b>	
1. 各事業の目的と概要一覧	37



# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

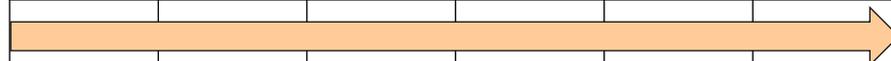
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

## 2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、2018年度(平成30年度)から2023年度の6年間とします。

### ■ 計画期間

2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					

### 3. 基本方針

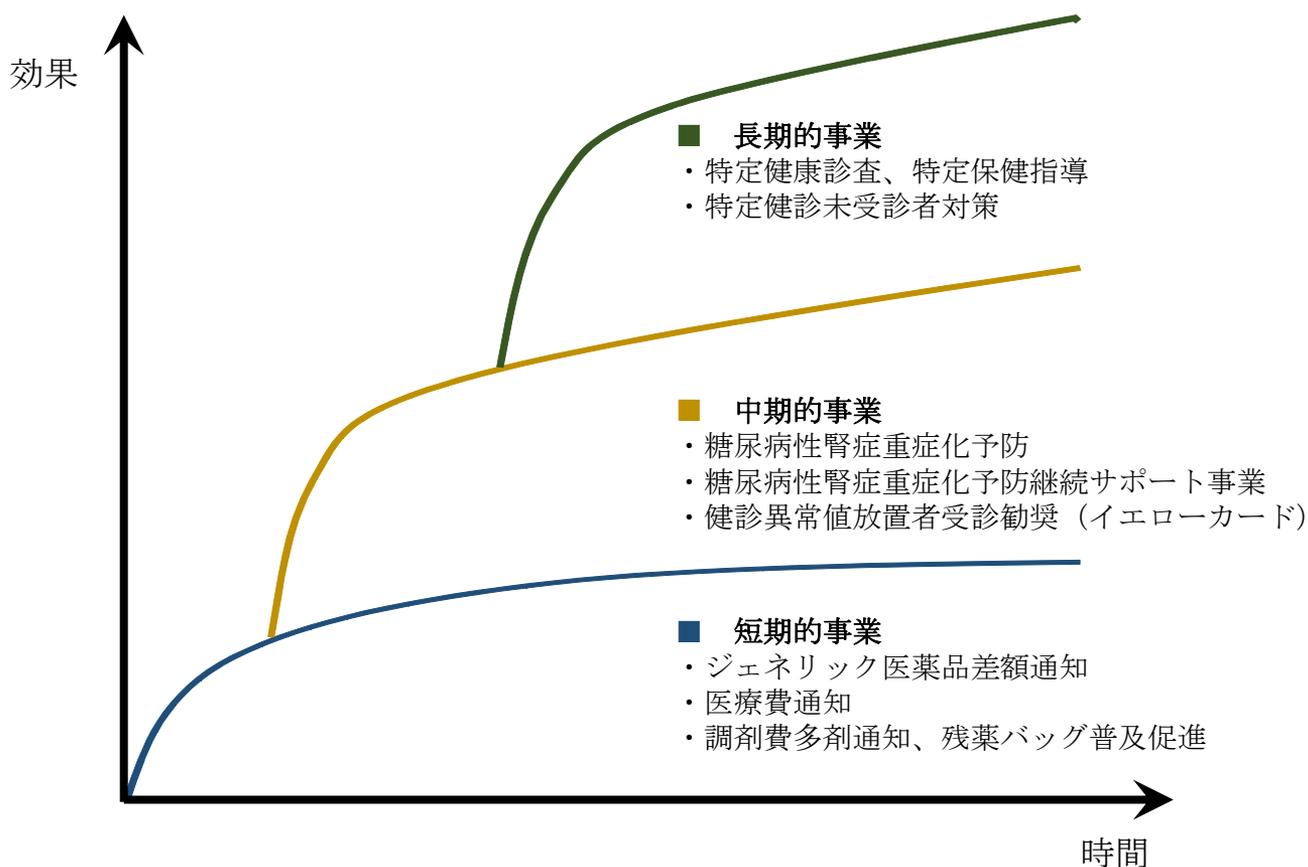
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画します。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性が大きい反面、効果額が小さい短期的事業と、即効性は小さい反面将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これら事業を王寺町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施します。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「奈良県健康増進計画」及び「王寺町健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要があります。

## 5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、保健センターと共同で事業を推進します。また、奈良県国民健康保険団体連合会の「保健事業支援・評価委員会」に助言を求めるなど連携を図っていきます。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成27年度～平成29年度(3年分)
  
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成25年度…平成25年4月～平成26年3月診療分(12カ月分)  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)
  
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成25年度…平成25年4月～平成26年3月健診分(12カ月分)  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 被保険者数の推移

国民健康保険被保険者数は、短時間労働者への社会保険の適用拡大や75歳になって後期高齢者医療保険に加入するなどにより、年々減少しており、過去3年間で416人の減、△7.7%となっています。しかし、70歳～74歳は以前増加傾向にあります。

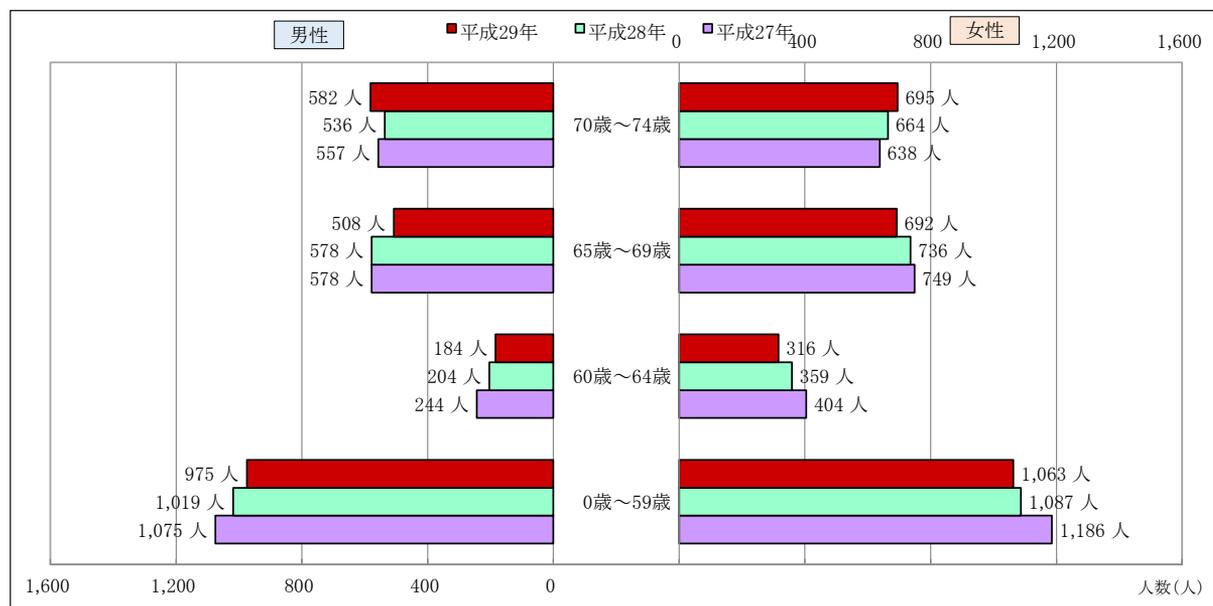
被保険者数の推移（H27年度～H29年度）

（単位：人）

年齢階級	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
0歳～59歳	1,075	1,186	2,261	1,019	1,087	2,106	975	1,063	2,038
0歳～9歳	104	105	209	97	102	199	106	102	208
10歳～19歳	116	141	257	119	138	257	113	124	237
20歳～29歳	170	187	357	158	159	317	143	169	312
30歳～39歳	198	203	401	177	193	370	167	176	343
40歳～49歳	266	246	512	259	219	478	250	218	468
50歳～59歳	221	304	525	209	276	485	196	274	470
60歳～64歳	244	404	648	204	359	563	184	316	500
65歳～69歳	578	749	1,327	578	736	1,314	508	692	1,200
70歳～74歳	557	638	1,195	536	664	1,200	582	695	1,277
合計	2,454	2,977	5,431	2,337	2,846	5,183	2,249	2,766	5,015

※王寺町「被保険者データ」より 各年、年度末時点の年齢により集計

### 男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド（H27年度～H29年度）



※王寺町「被保険者データ」より。各年、年度末時点の年齢により集計

## (2) 被保険者数の推計

今後、国民健康保険被保険者数は、団塊の世代（1947年から1949年生まれの被保険者）が75歳となり、後期高齢者医療保険に加入となるため年々減少し、2024年度では、4,547人となると予想しています。

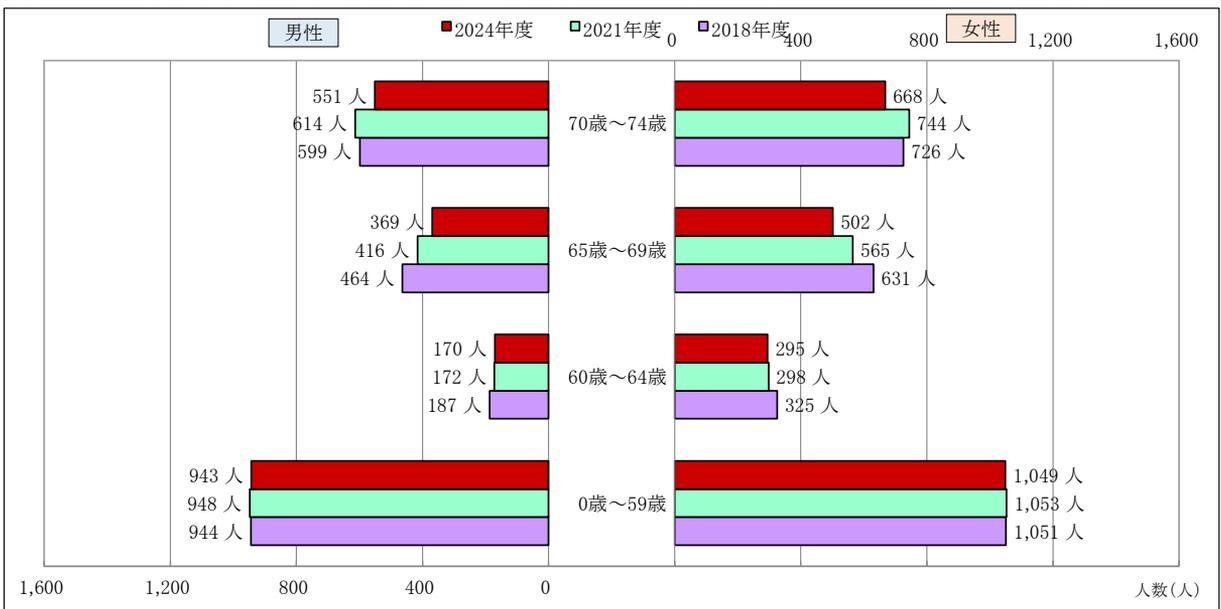
被保険者数推計

（単位：人）

年齢階級	2018年度			2021年度			2024年度		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
0歳～59歳	944	1,051	1,995	948	1,053	2,001	943	1,049	1,992
0歳～9歳	97	92	189	101	96	197	100	95	195
10歳～19歳	114	119	233	115	119	234	121	126	247
20歳～29歳	144	170	314	139	163	302	132	155	287
30歳～39歳	141	170	311	133	160	293	119	143	262
40歳～49歳	246	217	463	249	221	470	242	214	456
50歳～59歳	202	283	485	211	294	505	229	316	545
60歳～64歳	187	325	512	172	298	470	170	295	465
65歳～69歳	464	631	1,095	416	565	981	369	502	871
70歳～74歳	599	726	1,325	614	744	1,358	551	668	1,219
合計	2,194	2,733	4,927	2,150	2,660	4,810	2,033	2,514	4,547

※王寺町人口ビジョンから推計 平成30年9月末の人口に対する国保加入率から推計  
2021年度は、計画の中間年、2024年度は、県内保険料（税）統一年度

## 男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド（2018・2021・2024年度）



※王寺町人口ビジョンから推計 平成30年9月末の人口に対する国保加入率から推計  
2021年度は、計画の中間年、2024年度は、県内保険料（税）統一年度

### (3) 医療費等の状況

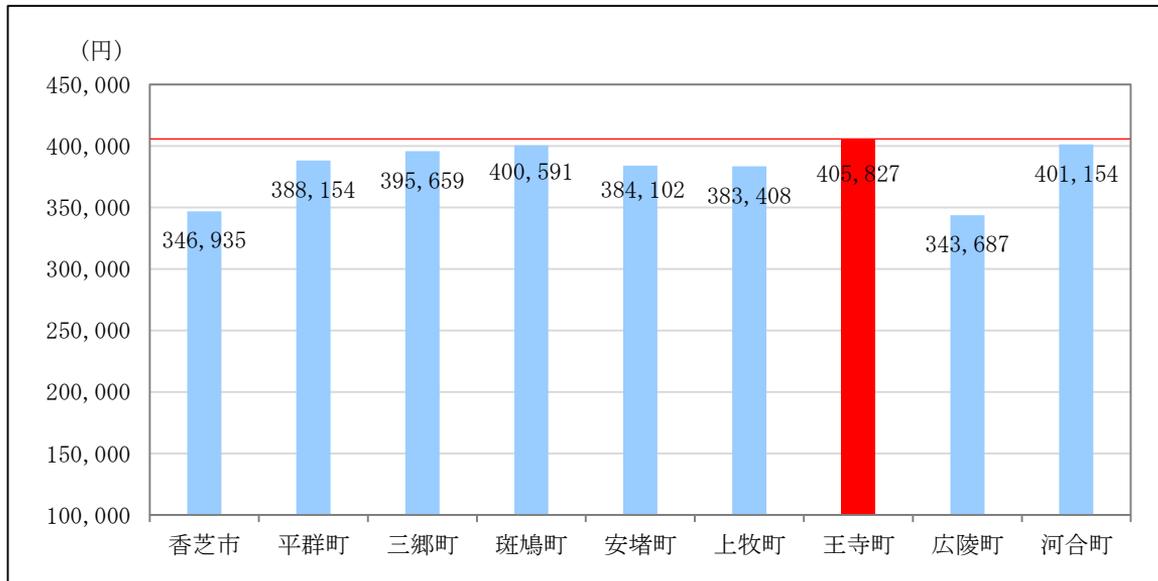
以下は、本町の平成29年度における、医療基礎情報を示したものです。

#### 医療基礎情報(平成29年度)

医療項目	王寺町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	5.3	3.6	2.6	3.1
病床数	20.5	50.9	46.4	48.8
医師数	7.2	9.6	7.8	9.7
外来患者数	774.1	702.0	701.8	675.5
入院患者数	20.7	18.8	20.0	18.5
受診率	794.8	720.8	721.8	694.0
一件当たり医療費(円)	37,000	35,810	36,690	36,040
一般(円)	37,050	35,810	36,640	36,000
退職(円)	33,600	36,230	39,840	38,910
外来				
外来費用の割合	60.2%	59.8%	59.0%	59.9%
外来受診率	774.1	702.0	701.8	675.5
一件当たり医療費(円)	22,860	22,000	22,250	22,170
一人当たり医療費(円)	17,700	15,450	15,620	14,980
一日当たり医療費(円)	14,350	14,470	14,360	14,280
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	39.8%	40.2%	41.0%	40.1%
入院率	20.7	18.8	20.0	18.5
一件当たり医療費(円)	564,630	551,880	543,030	542,190
一人当たり医療費(円)	11,710	10,370	10,870	10,030
一日当たり医療費(円)	38,410	37,410	34,180	34,630
一件当たり在院日数	14.7	14.8	15.9	15.7

県内近隣9市町の平成29年度被保険者一人当たりの医療費の比較を行ったところ、本町が405,827円で一番医療費が高くなっていました。

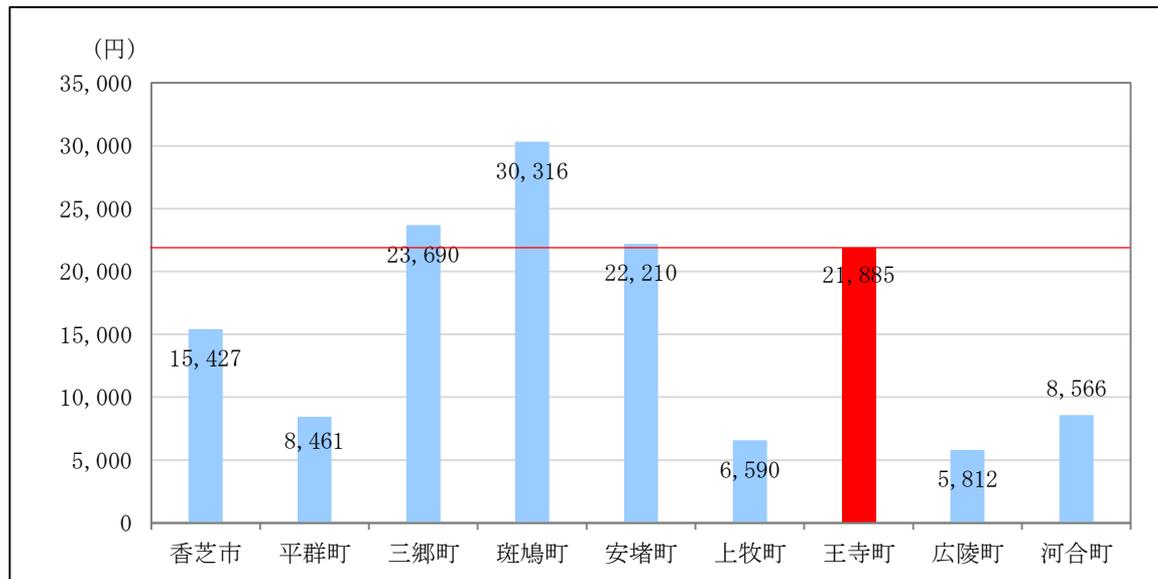
### 平成29年度県内9市町の被保険者一人当たり医療費の比較



出典：事業年報

平成27年度から平成29年度までの被保険者一人当たりの医療費増加額を比較したところ、本町は21,885円で9市町の中で4位でした。

### 平成27年度から平成29年度までの被保険者一人当たりの医療費増加額



出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から29年度の被保険者一人当たりの医療費順で並べたところ、本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。

### 県内9市町の被保険者一人当たり医療費と順位（平成27年度～平成29年度）

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	331,508	9	335,608	9	346,935	8	1	河合町	河合町	王寺町
平群町	379,693	3	376,847	6	388,154	5	2	王寺町	王寺町	河合町
三郷町	371,969	5	397,069	3	395,659	4	3	平群町	三郷町	斑鳩町
斑鳩町	370,275	6	382,416	4	400,591	3	4	上牧町	斑鳩町	三郷町
安堵町	361,892	7	372,944	7	384,102	6	5	三郷町	上牧町	平群町
上牧町	376,818	4	380,815	5	383,408	7	6	斑鳩町	平群町	安堵町
王寺町	383,942	2	400,961	2	405,827	1	7	安堵町	安堵町	上牧町
広陵町	337,875	8	336,384	8	343,687	9	8	広陵町	広陵町	香芝市
河合町	392,588	1	404,574	1	401,154	2	9	香芝市	香芝市	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から平成29年度までの調剤費の順位を比較したところ、被保険者一人当たり医療費と同様に本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。

### 平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別調剤費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	54,720	7	51,687	8	53,665	8	1	王寺町	斑鳩町	王寺町
平群町	61,731	5	60,650	5	61,854	5	2	斑鳩町	王寺町	斑鳩町
三郷町	59,760	6	63,773	3	63,698	3	3	河合町	三郷町	三郷町
斑鳩町	72,301	2	68,711	1	70,473	2	4	上牧町	河合町	河合町
安堵町	53,897	8	56,551	7	59,337	7	5	平群町	平群町	平群町
上牧町	61,872	4	58,455	6	60,970	6	6	三郷町	上牧町	上牧町
王寺町	73,682	1	66,093	2	71,663	1	7	香芝市	安堵町	安堵町
広陵町	45,047	9	44,865	9	43,899	9	8	安堵町	香芝市	香芝市
河合町	62,418	3	63,566	4	63,200	4	9	広陵町	広陵町	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から29年度の入院医療費の順位変動を見ると、本町は平成27年度は5位、平成28年度に1位、平成29年度に2位となっていることがわかりました。

平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別入院医療費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	112,363	8	118,736	8	124,307	8	1	安堵町	王寺町	斑鳩町
平群町	133,240	6	133,021	7	138,202	6	2	河合町	三郷町	王寺町
三郷町	136,771	3	149,130	2	145,084	3	3	三郷町	斑鳩町	三郷町
斑鳩町	127,243	7	142,344	3	151,602	1	4	上牧町	安堵町	安堵町
安堵町	140,677	1	141,847	4	144,096	4	5	王寺町	上牧町	河合町
上牧町	135,618	4	139,242	5	135,865	7	6	平群町	河合町	平群町
王寺町	134,807	5	150,438	1	145,741	2	7	斑鳩町	平群町	上牧町
広陵町	109,166	9	108,886	9	113,815	9	8	香芝市	香芝市	香芝市
河合町	140,245	2	139,217	6	140,607	5	9	広陵町	広陵町	広陵町

出典：事業年報

県内近隣9市町の平成27年度から平成29年度までの外来医療費の順位変動を見ると、本町は入院医療費と同じように平成28年度に順位が上がってきていることがわかりました。

平成27年度から平成29年度までの県内9市町の年度別外来医療費順位

市町名	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
香芝市	126,515	9	126,127	9	128,970	9	1	河合町	河合町	河合町
平群町	140,773	3	140,518	4	146,654	3	2	広陵町	広陵町	広陵町
三郷町	133,133	5	140,329	5	143,058	6	3	平群町	王寺町	平群町
斑鳩町	132,317	7	130,042	8	137,007	8	4	上牧町	平群町	王寺町
安堵町	129,382	8	136,264	7	143,944	5	5	三郷町	三郷町	安堵町
上牧町	138,047	4	140,044	6	141,242	7	6	王寺町	上牧町	三郷町
王寺町	132,627	6	141,754	3	144,889	4	7	斑鳩町	安堵町	上牧町
広陵町	144,709	2	144,260	2	146,742	2	8	安堵町	斑鳩町	斑鳩町
河合町	145,710	1	158,295	1	150,915	1	9	香芝市	香芝市	香芝市

出典：事業年報

#### (4) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

##### ① 特定健康診査の実施状況

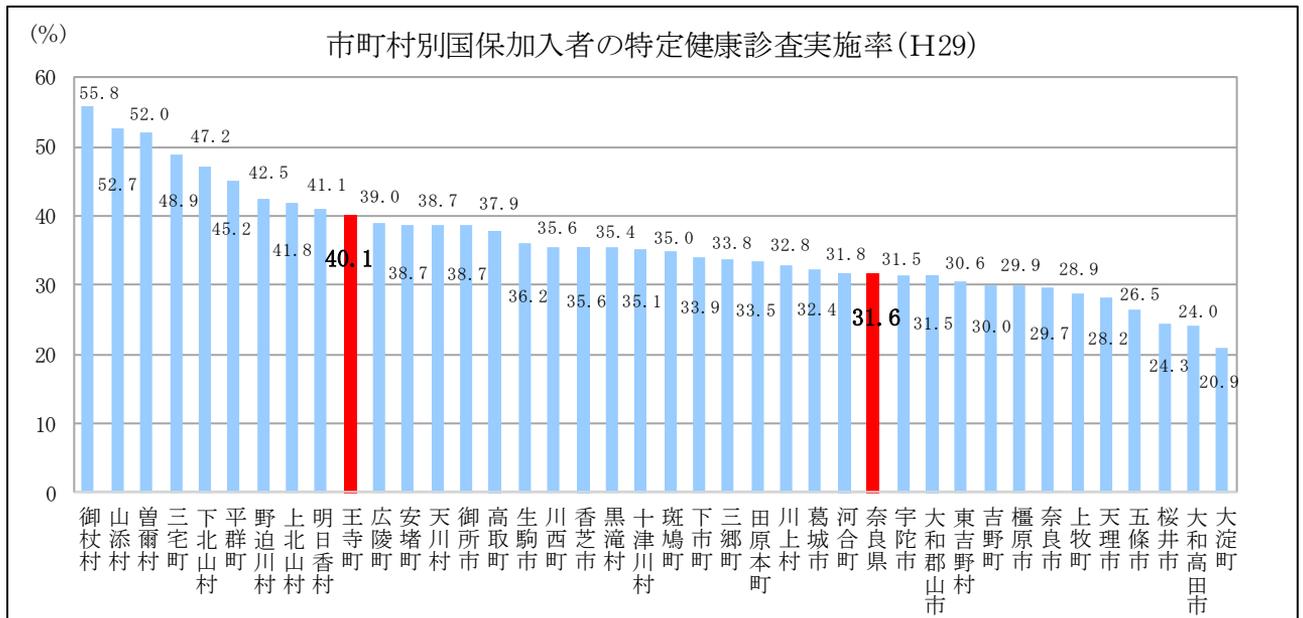
特定健康診査実施率は、毎年増加傾向にあり、対象者の約4割が受診しています。平成29年度の特定健康診査実施率は県平均より高く、市町村順位は県内第10位です。

##### 特定健康診査受診率の推移

年 度	H20	H25	H26	H27	H28	H29
特定健診実施率 (%)	31.0	34.2	36.9	39.2	39.6	40.1
対象者数 (人)	3,789	3,983	3,958	3,846	3,765	3,640
受診者数 (人)	1,175	1,361	1,460	1,509	1,491	1,459
市町村順位 (位)	14	15	12	8	10	10

出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

##### 県内市町村別国保加入者の特定健康診査実施率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

## ②特定保健指導の実施状況

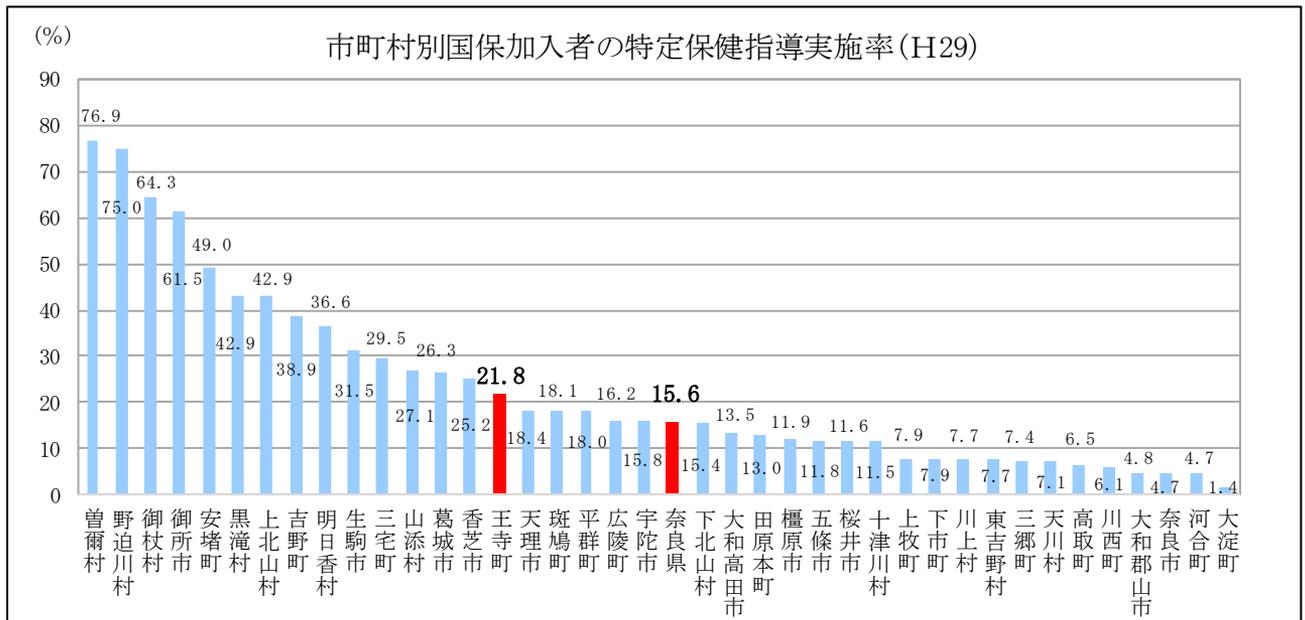
特定保健指導実施率は、平成25年度から平成27年度までは増加しましたが、平成28年度からは減少しております。これは、対象者の中に「かかりつけ医から指導してもらっているから」、「去年、指導を受けたのでわかっている」などの理由から保健指導を受けられない被保険者が増えているからです。こういった被保険者がどうすれば保健指導を受けていただけるのか、魅力ある保健指導にしていくにはどうしたらいいかを実施主体である保健センターと連携して考えていきます。

### 特定保健指導実施率の推移

年 度	H20	H25	H26	H27	H28	H29
特定保健指導実施率 (%)	40.6	23.9	25.2	31.4	29.7	21.8
対象者数 (人)	180	159	119	153	145	124
終了者数 (人)	73	38	30	48	43	27
市町村順位 (位)	9	16	18	12	11	15

出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

### 県内市町村別国保加入者の特定保健指導実施率



出典：奈良県国民健康保険団体連合会 法定報告

## 2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

### (1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は以下の通りです。

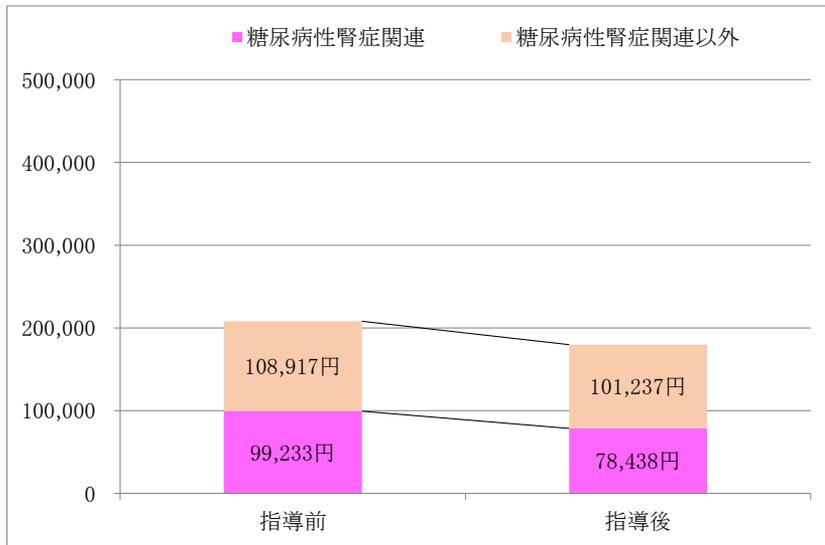
事業名	事業目的	事業概要
特定健診・ 特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	<p>○特定健診の未受診者に対し、過去の健診結果を記載した通知書を送付し、特定健診への受診勧奨を行う。</p> <p>○通知の内容は、健診値をレーダーチャートで分かりやすく表現する。</p>
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	<p>○特定健診の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで医療機関への受診勧奨を行う。</p> <p>○通知書の内容は、健診値をレーダーチャートで分かりやすく表現したものとする。</p>
糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	<p>○特定健診の健診値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職により対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行う。</p> <p>○指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように継続的にフォローを行う。</p>

実施内容	目標値	達成状況
<p>○管理栄養士による未受診者への電話勧奨の強化と過去に1度受診したが、ここ数年、特定健診を受診していない者を対象に通知を行う。</p>	<p>○特定健診受診率 平成28年度 40.0% 平成29年度 45.0%</p> <p>○特定保健指導終了率 平成28年度 27.0% 平成29年度 30.0%</p>	<p>○特定健診受診率 平成28年度 39.6% (目標より△0.4%) 平成29年度 40.1% (目標より△4.9%)</p> <p>○特定保健指導終了率 平成28年度 29.7% (目標より+2.7%) 平成29年度 21.8% (目標より△8.2%)</p>
<p>○健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。</p> <p>○通知後に医療機関受診があるか確認する。</p>	<p>○対象者の医療機関受診率 20.0% (受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合)</p> <p>○健診異常値放置者20.0%減少</p>	<p>○対象者の医療機関受診率 平成28年度 16.2% (目標より△3.8%) 平成29年度 8.3% (目標より△11.7%)</p> <p>○健診異常値放置対象者 平成28年度 136人→平成29年度 120人 (136人から120人となり実人数で16人減少) 減少率11.8% (目標より△8.2%)</p>
<p>○現状の確認と目標を決定し、面談(2回)、電話指導(10回)を行いながら指導対象者に対して適切な指導を行う。</p>	<p>○指導実施完了者の生活習慣改善率 70.0%</p> <p>○指導実施完了者検査値改善率 70.0%</p>	<p>○指導対象者の指導実施者数 平成28年度 対象者38人 指導実施者数5人 指導実施率13.2%</p> <p>平成29年度 対象者46人 指導実施者数4人 指導実施率8.7%</p> <p>○指導実施完了者の生活習慣改善率 指導完了者の「自己管理行動指標」より 平成28年度 5人中5人が改善 生活指導改善率100% (目標より+30%)</p> <p>平成29年度 4人中4人が改善 生活指導改善率100% (目標より+30%)</p> <p>○指導実施完了者の検査値改善率 指導実施完了者全員に体重、血圧、空腹時血糖ほか11項目のうち1つ以上改善が見られた。</p>

## (2) 重症化予防指導事業における一人当たり医療費の推移

事業に参加していただいた方の指導前、指導後の一人当たり医療費を比較しました。指導後とは平成28年度、平成29年度指導完了者ともに直近の6ヶ月としています。平成28年度指導完了者は医療費の減少が見られます。平成29年度指導完了者のグラフでは、指導後に入院が発生したため、医療費が高くなっています。

### 平成28年度指導完了者の一人当たり医療費

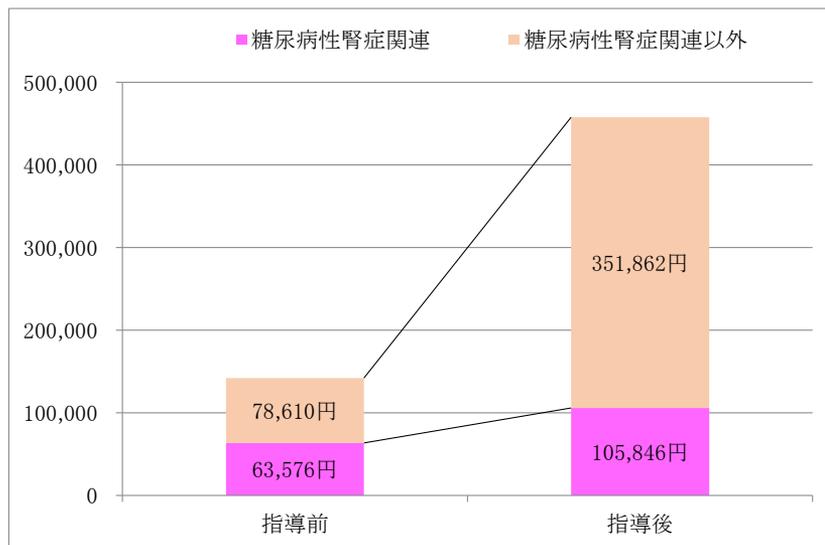


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成30年3月診療分(24ヵ月分)。

指導前: 対象診療年月は平成28年4月～平成28年9月(6ヵ月分)

指導後: 対象診療年月は平成29年10月～平成30年3月(6ヵ月分)

### 平成29年度指導完了者の一人当たり医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成30年3月診療分(24ヵ月分)。

指導前: 対象診療年月は平成29年2月～平成29年7月(6ヵ月分)

指導後: 対象診療年月は平成29年10月～平成30年3月(6ヵ月分)

### (3) 疾病別医療費

#### ①大分類による疾病別医療費統計

平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の18.7%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.8%と高い割合を占めています。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (千円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	68,136	3.7%	11	6,291	12	1,664	9	41	12
II. 新生物<腫瘍>	287,074	15.8%	2	6,609	10	1,681	8	171	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,475	0.6%	17	1,529	17	385	16	27	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	162,492	8.9%	4	26,354	2	2,362	3	69	8
V. 精神及び行動の障害	119,981	6.6%	6	6,690	9	644	14	186	1
VI. 神経系の疾患	97,479	5.4%	8	12,093	6	1,189	12	82	6
VII. 眼及び付属器の疾患	73,030	4.0%	10	9,256	7	1,859	6	39	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	12,488	0.7%	15	2,322	16	567	15	22	18
IX. 循環器系の疾患	341,113	18.7%	1	27,374	1	2,199	5	155	3
X. 呼吸器系の疾患	94,338	5.2%	9	14,814	5	2,731	1	35	14
X I. 消化器系の疾患 ※	123,266	6.8%	5	20,640	4	2,378	2	52	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	36,337	2.0%	13	8,456	8	1,722	7	21	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966	9.3%	3	20,855	3	2,226	4	76	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	117,809	6.5%	7	6,596	11	1,192	11	99	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,655	0.1%	19	132	20	42	20	63	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,473	0.1%	20	34	21	17	21	145	4
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,544	0.2%	18	306	19	115	18	31	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%	14	6,136	13	1,310	10	17	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	65,573	3.6%	12	3,676	14	1,012	13	65	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,827	0.6%	16	2,376	15	374	17	29	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,117	0.1%	21	453	18	97	19	12	21
合計	1,821,866			79,476		4,800		380	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

以下は、平成25年度から平成29年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

### 年度別 大分類による疾病別医療費統計

疾病分類 (大分類)	平成25年度			平成26年度		
	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	34,753	2.2%	12	50,552	3.0%	12
II. 新生物<腫瘍>	230,722	14.6%	2	248,179	14.7%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,010	0.8%	15	12,364	0.7%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	155,600	9.9%	3	162,233	9.6%	4
V. 精神及び行動の障害	117,273	7.4%	6	127,486	7.6%	5
VI. 神経系の疾患	62,344	3.9%	10	85,466	5.1%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	70,480	4.5%	9	81,054	4.8%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,811	0.6%	16	8,187	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	303,019	19.2%	1	266,799	15.8%	1
X. 呼吸器系の疾患	87,565	5.5%	8	90,331	5.4%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	136,525	8.6%	5	127,268	7.6%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,350	1.6%	13	25,647	1.5%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	154,392	9.8%	4	175,822	10.4%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	96,713	6.1%	7	101,642	6.0%	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	253	0.0%	20	3,137	0.2%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	176	0.0%	21	1,227	0.1%	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,335	0.3%	17	5,811	0.3%	17
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,870	1.3%	14	25,546	1.5%	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	52,979	3.4%	11	76,510	4.5%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,638	0.2%	18	5,408	0.3%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,715	0.1%	19	2,810	0.2%	20
合計	1,579,525			1,683,476		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

※各年度毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

平成27年度			平成28年度			平成29年度		
医療費(千円)	構成比(%)	順位	医療費(千円)	構成比(%)	順位	医療費(千円)	構成比(%)	順位
104,788	5.7%	8	65,400	3.5%	12	68,136	3.7%	11
276,562	15.0%	2	267,418	14.2%	2	287,074	15.8%	2
7,438	0.4%	17	11,393	0.6%	16	10,475	0.6%	17
178,682	9.7%	4	170,233	9.0%	4	162,492	8.9%	4
134,569	7.3%	6	126,358	6.7%	6	119,981	6.6%	6
71,342	3.9%	12	99,716	5.3%	9	97,479	5.4%	8
79,044	4.3%	10	73,273	3.9%	10	73,030	4.0%	10
10,272	0.6%	16	10,891	0.6%	17	12,488	0.7%	15
280,989	15.2%	1	351,296	18.7%	1	341,113	18.7%	1
107,470	5.8%	7	105,969	5.6%	8	94,338	5.2%	9
140,506	7.6%	5	141,673	7.5%	5	123,266	6.8%	5
33,109	1.8%	13	37,591	2.0%	13	36,337	2.0%	13
195,082	10.6%	3	179,356	9.5%	3	169,966	9.3%	3
104,660	5.7%	9	108,313	5.8%	7	117,809	6.5%	7
1,648	0.1%	20	4,314	0.2%	19	2,655	0.1%	19
1,841	0.1%	19	22,250	1.2%	15	2,473	0.1%	20
3,110	0.2%	18	3,046	0.2%	20	3,544	0.2%	18
25,319	1.4%	14	27,255	1.4%	14	21,694	1.2%	14
72,800	3.9%	11	66,059	3.5%	11	65,573	3.6%	12
13,520	0.7%	15	9,968	0.5%	18	10,827	0.6%	16
0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
1,049	0.1%	21	873	0.0%	21	1,117	0.1%	21
1,843,797			1,882,645			1,821,866		

## ②中分類による疾病別医療費統計

### 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	1,821,866		79,476		4,800	

疾病分類	医療費(千円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人当たりの医療費(千円)
	医療費(千円)	構成比(%)	順位	レセプト件数	構成比(%)	順位	患者数	構成比(%)	順位	
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	68,136	3.7%		6,291	7.9%		1,664	34.7%		41
0101 腸管感染症	3,454	0.2%	79	1,245	1.6%	51	485	10.1%	35	7 108
0102 結核	5,739	0.3%	69	182	0.2%	97	71	1.5%	89	81 27
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	499	0.0%	109	188	0.2%	96	114	2.4%	80	4 115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,867	0.3%	77	1,011	1.3%	56	299	6.2%	49	16 86
0105 ウイルス性肝炎	24,268	1.3%	22	881	1.1%	61	221	4.6%	60	110 24
0106 その他のウイルス性疾患	2,610	0.1%	87	226	0.3%	93	91	1.9%	85	29 60
0107 真菌症	15,975	0.9%	39	1,983	2.5%	38	594	12.4%	29	27 65
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	181	0.0%	114	42	0.1%	110	8	0.2%	116	23 73
0109 その他の感染症及び寄生虫症	10,545	0.6%	47	1,277	1.6%	50	474	9.9%	37	22 75
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	287,074	15.8%		6,609	8.3%		1,681	35.0%		171
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	20,400	1.1%	29	997	1.3%	57	400	8.3%	40	51 38
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	22,266	1.2%	23	979	1.2%	58	391	8.1%	41	57 33
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,664	0.4%	63	128	0.2%	101	23	0.5%	107	290 8
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	7,048	0.4%	60	378	0.5%	84	139	2.9%	73	51 39
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	36,783	2.0%	13	717	0.9%	68	291	6.1%	50	126 20
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	24,897	1.4%	21	602	0.8%	73	108	2.3%	82	231 11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,658	0.4%	64	310	0.4%	88	169	3.5%	69	39 52
0208 悪性リンパ腫	8,307	0.5%	54	120	0.2%	102	30	0.6%	102	277 9
0209 白血病	6,566	0.4%	65	62	0.1%	109	14	0.3%	109	469 2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876	6.3%	1	2,763	3.5%	30	773	16.1%	20	147 15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	33,609	1.8%	16	1,766	2.2%	42	699	14.6%	25	48 44
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	10,475	0.6%		1,529	1.9%		385	8.0%		27
0301 貧血	5,384	0.3%	72	897	1.1%	60	220	4.6%	61	24 70
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,091	0.3%	75	739	0.9%	66	223	4.6%	59	23 72
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	162,492	8.9%		26,354	33.2%		2,362	49.2%		69
0401 甲状腺障害	6,735	0.4%	62	1,840	2.3%	40	486	10.1%	34	14 93
0402 糖尿病	79,208	4.3%	5	11,042	13.9%	4	1,447	30.1%	4	55 36
0403 脂質異常症	60,509	3.3%	7	17,326	21.8%	2	1,347	28.1%	5	45 47
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	16,041	0.9%	38	5,301	6.7%	16	714	14.9%	24	22 74
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	119,981	6.6%		6,690	8.4%		644	13.4%		186
0501 血管性及び詳細不明の認知症	11,314	0.6%	42	113	0.1%	103	30	0.6%	102	377 3
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3,449	0.2%	80	175	0.2%	98	25	0.5%	105	138 18
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	45,850	2.5%	9	1,787	2.2%	41	123	2.6%	77	373 4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,821,866	79,476	4,800

疾病分類	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)		
											順位	
0504	気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む)	30,414	1.7%	17	3,071	3.9%	27	255	5.3%	56	119	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	17,893	1.0%	32	3,619	4.6%	24	371	7.7%	42	48	42
0506	知的障害<精神遅滞>	467	0.0%	110	71	0.1%	106	15	0.3%	108	31	56
0507	その他の精神及び行動の障害	10,593	0.6%	46	363	0.5%	86	76	1.6%	87	139	17
VI. 神経系の疾患		97,479	5.4%		12,093	15.2%		1,189	24.8%		82	
0601	パーキンソン病	15,386	0.8%	41	464	0.6%	79	45	0.9%	95	342	5
0602	アルツハイマー病	5,813	0.3%	68	332	0.4%	87	34	0.7%	98	171	13
0603	てんかん	8,738	0.5%	53	1,099	1.4%	55	108	2.3%	82	81	26
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	9,688	0.5%	49	211	0.3%	95	33	0.7%	99	294	7
0605	自律神経系の障害	4,979	0.3%	76	284	0.4%	91	31	0.6%	101	161	14
0606	その他の神経系の疾患	52,875	2.9%	8	10,691	13.5%	5	1,096	22.8%	12	48	41
VII. 眼及び付属器の疾患		73,030	4.0%		9,256	11.6%		1,859	38.7%		39	
0701	結膜炎	6,553	0.4%	66	4,014	5.1%	22	863	18.0%	17	8	106
0702	白内障	15,610	0.9%	40	3,580	4.5%	25	637	13.3%	28	25	69
0703	屈折及び調節の障害	6,857	0.4%	61	7,566	9.5%	7	1,569	32.7%	3	4	116
0704	その他の眼及び付属器の疾患	44,009	2.4%	10	7,255	9.1%	8	1,310	27.3%	6	34	55
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		12,488	0.7%		2,322	2.9%		567	11.8%		22	
0801	外耳炎	896	0.0%	105	575	0.7%	74	167	3.5%	70	5	110
0802	その他の外耳疾患	792	0.0%	106	383	0.5%	83	165	3.4%	71	5	111
0803	中耳炎	2,321	0.1%	90	772	1.0%	64	179	3.7%	67	13	96
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,011	0.1%	103	387	0.5%	82	129	2.7%	76	8	105
0805	メニエール病	1,814	0.1%	98	375	0.5%	85	78	1.6%	86	23	71
0806	その他の内耳疾患	378	0.0%	111	155	0.2%	99	46	1.0%	94	8	104
0807	その他の耳疾患	5,277	0.3%	73	544	0.7%	76	170	3.5%	68	31	57
IX. 循環器系の疾患		341,113	18.7%		27,374	34.4%		2,199	45.8%		155	
0901	高血圧性疾患	89,598	4.9%	3	23,193	29.2%	1	1,670	34.8%	1	54	37
0902	虚血性心疾患	38,129	2.1%	11	4,409	5.5%	18	513	10.7%	32	74	28
0903	その他の心疾患	111,452	6.1%	2	6,195	7.8%	10	877	18.3%	16	127	19
0904	くも膜下出血	1,412	0.1%	101	38	0.0%	111	10	0.2%	111	141	16
0905	脳内出血	21,792	1.2%	24	225	0.3%	94	69	1.4%	90	316	6
0906	脳梗塞	34,594	1.9%	14	2,136	2.7%	36	304	6.3%	47	114	23
0907	脳動脈硬化(症)	13	0.0%	118	1	0.0%	121	1	0.0%	120	13	95
0908	その他の脳血管疾患	20,164	1.1%	30	748	0.9%	65	232	4.8%	58	87	25
0909	動脈硬化(症)	5,615	0.3%	70	1,124	1.4%	54	268	5.6%	54	21	77
0911	低血圧(症)	44	0.0%	116	13	0.0%	117	3	0.1%	117	15	90
0912	その他の循環器系の疾患	18,299	1.0%	31	1,567	2.0%	44	281	5.9%	53	65	32
X. 呼吸器系の疾患		94,338	5.2%		14,814	18.6%		2,731	56.9%		35	
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	938	0.1%	104	927	1.2%	59	363	7.6%	45	3	117
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,381	0.2%	81	1,866	2.3%	39	732	15.3%	23	5	113
1003	その他の急性上気道感染症	7,976	0.4%	57	3,842	4.8%	23	1,051	21.9%	13	8	107

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	1,821,866		79,476		4,800	

疾病分類	医療費(千円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人当たりの医療費(千円)		
		構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		順位	
1004	肺炎	8,044	0.4%	56	679	0.9%	71	285	5.9%	52	28	62
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	5,192	0.3%	74	2,459	3.1%	33	911	19.0%	15	6	109
1006	アレルギー性鼻炎	16,721	0.9%	35	6,629	8.3%	9	1,307	27.2%	8	13	98
1007	慢性副鼻腔炎	3,503	0.2%	78	2,083	2.6%	37	416	8.7%	38	8	103
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,246	0.1%	91	1,657	2.1%	43	480	10.0%	36	5	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	7,551	0.4%	58	1,208	1.5%	53	196	4.1%	65	39	53
1010	喘息	17,112	0.9%	33	3,540	4.5%	26	681	14.2%	27	25	68
1011	その他の呼吸器系の疾患	21,672	1.2%	27	3,041	3.8%	28	1,101	22.9%	11	20	80
X I. 消化器系の疾患		123,266	6.8%		20,640	26.0%		2,378	49.5%			52
1101	う蝕	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%			0
1102	歯肉炎及び歯周疾患	2	0.0%	121	6	0.0%	118	1	0.0%	120	2	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	25	0.0%	117	14	0.0%	116	10	0.2%	111	3	119
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,968	0.6%	44	4,056	5.1%	21	534	11.1%	31	21	78
1105	胃炎及び十二指腸炎	16,915	0.9%	34	8,341	10.5%	6	1,234	25.7%	9	14	94
1106	痔核	1,854	0.1%	97	571	0.7%	75	131	2.7%	74	14	92
1107	アルコール性肝疾患	1,641	0.1%	100	151	0.2%	100	24	0.5%	106	68	30
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	1,660	0.1%	99	469	0.6%	78	66	1.4%	91	25	67
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	2,089	0.1%	95	389	0.5%	81	58	1.2%	93	36	54
1110	その他の肝疾患	3,218	0.2%	84	1,403	1.8%	47	369	7.7%	44	9	102
1111	胆石症及び胆のう炎	8,852	0.5%	51	691	0.9%	70	208	4.3%	63	43	49
1112	膵疾患	3,186	0.2%	85	306	0.4%	89	75	1.6%	88	42	50
1113	その他の消化器系の疾患	72,856	4.0%	6	13,842	17.4%	3	1,646	34.3%	2	44	48
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患		36,337	2.0%		8,456	10.6%		1,722	35.9%			21
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	3,334	0.2%	82	736	0.9%	67	258	5.4%	55	13	97
1202	皮膚炎及び湿疹	16,642	0.9%	36	5,457	6.9%	15	1,113	23.2%	10	15	89
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	16,361	0.9%	37	4,190	5.3%	20	1,019	21.2%	14	16	87
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患		169,966	9.3%		20,855	26.2%		2,226	46.4%			76
1301	炎症性多発性関節障害	26,975	1.5%	18	2,920	3.7%	29	401	8.4%	39	67	31
1302	関節症	38,099	2.1%	12	5,701	7.2%	14	754	15.7%	22	51	40
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	21,678	1.2%	26	5,713	7.2%	13	765	15.9%	21	28	61
1304	椎間板障害	10,151	0.6%	48	1,445	1.8%	46	250	5.2%	57	41	51
1305	頸腕症候群	2,097	0.1%	94	1,397	1.8%	48	197	4.1%	64	11	101
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	11,063	0.6%	43	5,021	6.3%	17	699	14.6%	25	16	88
1307	その他の脊柱障害	1,898	0.1%	96	648	0.8%	72	130	2.7%	75	15	91
1308	肩の傷害<損傷>	5,887	0.3%	67	2,471	3.1%	32	349	7.3%	46	17	83
1309	骨の密度及び構造の障害	26,958	1.5%	19	5,756	7.2%	12	587	12.2%	30	46	45
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	25,160	1.4%	20	4,392	5.5%	19	849	17.7%	18	30	58

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,821,866	79,476	4,800

疾病分類	医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	117,809	6.5%		6,596	8.3%		1,192	24.8%		99	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	8,759	0.5%	52	830	1.0%	63	182	3.8%	66	48	43
1402 腎不全	79,490	4.4%	4	1,214	1.5%	52	117	2.4%	79	679	1
1403 尿路結石症	3,304	0.2%	83	532	0.7%	77	154	3.2%	72	21	76
1404 その他の腎尿路系の疾患	8,238	0.5%	55	2,147	2.7%	35	493	10.3%	33	17	84
1405 前立腺肥大(症)	9,481	0.5%	50	1,521	1.9%	45	209	4.4%	62	45	46
1406 その他の男性生殖器の疾患	643	0.0%	107	232	0.3%	92	59	1.2%	92	11	100
1407 月経障害及び閉経周期障害	2,332	0.1%	89	871	1.1%	62	118	2.5%	78	20	79
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	5,561	0.3%	71	716	0.9%	69	304	6.3%	47	18	81
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	2,655	0.1%		132	0.2%		42	0.9%		63	
1501 流産	218	0.0%	113	22	0.0%	113	12	0.3%	110	18	82
1502 妊娠高血圧症候群	5	0.0%	120	3	0.0%	120	2	0.0%	119	3	118
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,432	0.1%	88	108	0.1%	104	33	0.7%	99	74	29
XVI. 周産期に発生した病態	2,473	0.1%		34	0.0%		17	0.4%		145	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	254	0.0%	112	17	0.0%	115	9	0.2%	115	28	63
1602 その他の周産期に発生した病態	2,219	0.1%	92	18	0.0%	114	10	0.2%	111	22	12
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,544	0.2%		306	0.4%		115	2.4%		31	
1701 心臓の先天奇形	567	0.0%	108	26	0.0%	112	10	0.2%	111	57	34
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	2,977	0.2%	86	288	0.4%	90	109	2.3%	81	27	64
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%		6,136	7.7%		1,310	27.3%		17	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,694	1.2%	25	6,136	7.7%	11	1,310	27.3%	6	17	85
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	65,573	3.6%		3,676	4.6%		1,012	21.1%		65	
1901 骨折	34,581	1.9%	15	1,340	1.7%	49	286	6.0%	51	121	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,206	0.1%	93	71	0.1%	106	39	0.8%	96	57	35
1903 熱傷及び腐食	7,409	0.4%	59	69	0.1%	108	30	0.6%	102	247	10
1904 中毒	172	0.0%	115	85	0.1%	105	38	0.8%	97	5	114
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	21,204	1.2%	28	2,562	3.2%	31	825	17.2%	19	26	66
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,827	0.6%		2,376	3.0%		374	7.8%		29	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	5	0.0%	119	4	0.0%	119	3	0.1%	117	2	120
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(千円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1, 821, 866	79, 476	4, 800

疾病分類		医療費(千円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(千円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	10, 822	0.6%	45	2, 372	3.0%	34	371	7.7%	42	29	59
X X II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1, 117	0.1%		453	0.6%		97	2.0%		12	
9999	分類外	1, 117	0.1%	102	453	0.6%	80	97	2.0%	84	12	99

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

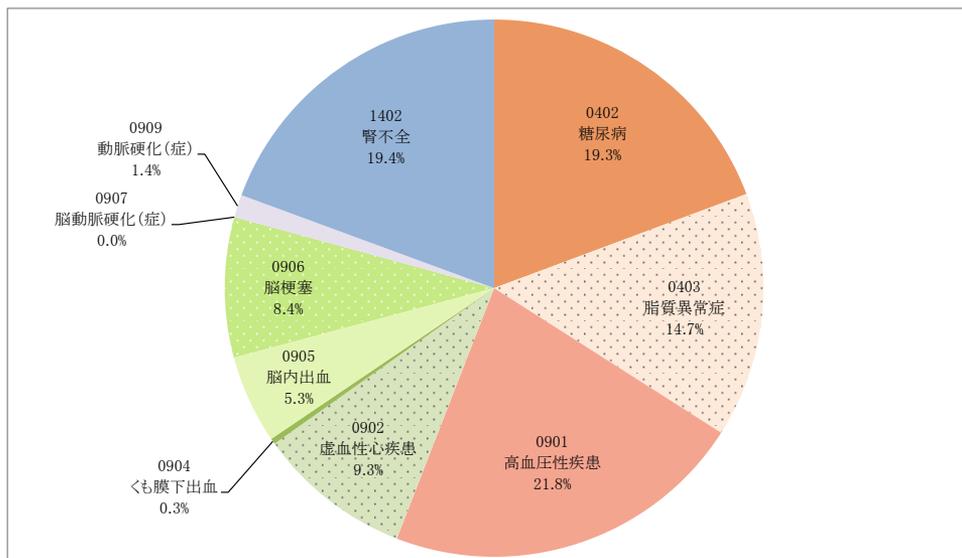
#### (4) 生活習慣病に係る医療費

平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出しました。糖尿病医療費は7,921万円、脂質異常症医療費は6,051万円、高血圧性疾患医療費は8,960万円となります。

#### 生活習慣病医療費

疾病分類 (中分類)	医療費(千円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(千円)
0402 糖尿病	79,208	1,447	55
0403 脂質異常症	60,509	1,347	45
0901 高血圧性疾患	89,598	1,670	54
0902 虚血性心疾患	38,129	513	74
0904 くも膜下出血	1,412	10	141
0905 脳内出血	21,792	69	316
0906 脳梗塞	34,594	304	114
0907 脳動脈硬化(症)	13	1	13
0909 動脈硬化(症)	5,615	268	21
1402 腎不全	79,490	117	679
計	410,360	5,746	71

#### 生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)。資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成25年度から平成29年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。平成29年度を平成25年度と比較すると、糖尿病医療費7,921万円は、平成25年度7,568万円より353万円増加しています。また、脂質異常症医療費6,051万円は、平成25年度6,081万円より30万円減少しています。高血圧性疾患医療費8,960万円は、平成25年度1億344万円より1,384万円減少しています。

## 年度別 生活習慣病医療費

疾病分類（中分類）		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	75,682	18.6%	77,272	20.6%	86,128	21.0%
0403	脂質異常症	60,807	14.9%	61,877	16.5%	65,674	16.0%
0901	高血圧性疾患	103,444	25.4%	99,078	26.4%	101,144	24.7%
0902	虚血性心疾患	48,578	11.9%	37,513	10.0%	50,733	12.4%
0904	くも膜下出血	11,750	2.9%	5,310	1.4%	5,856	1.4%
0905	脳内出血	12,156	3.0%	11,243	3.0%	2,874	0.7%
0906	脳梗塞	27,484	6.7%	16,533	4.4%	23,445	5.7%
0907	脳動脈硬化（症）	64	0.0%	35	0.0%	24	0.0%
0909	動脈硬化（症）	7,355	1.8%	5,961	1.6%	8,335	2.0%
1402	腎不全	60,212	14.8%	60,735	16.2%	65,176	15.9%
合計		407,530		375,558		409,388	

疾病分類（中分類）		平成28年度		平成29年度	
		医療費(千円) ※	構成比(%)	医療費(千円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	81,730	19.3%	79,208	19.3%
0403	脂質異常症	61,271	14.5%	60,509	14.7%
0901	高血圧性疾患	91,166	21.6%	89,598	21.8%
0902	虚血性心疾患	50,174	11.9%	38,129	9.3%
0904	くも膜下出血	11,128	2.6%	1,412	0.3%
0905	脳内出血	18,558	4.4%	21,792	5.3%
0906	脳梗塞	34,682	8.2%	34,594	8.4%
0907	脳動脈硬化（症）	11	0.0%	13	0.0%
0909	動脈硬化（症）	6,803	1.6%	5,615	1.4%
1402	腎不全	66,964	15.8%	79,490	19.4%
合計		422,486		410,360	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成25年4月～平成30年3月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※医療費(千円)…単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

### 3. 分析結果に基づく健康課題の把握

#### (1) 分析結果

以下は、平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)における分析結果を示したものです。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	循環器系の疾患	341,113千円	18.7%
2位	新生物<腫瘍>	287,074千円	15.8%
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966千円	9.3%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,731人
2位	消化器系の疾患	2,378人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,362人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	186千円
2位	新生物<腫瘍>	171千円
3位	循環器系の疾患	155千円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876千円	6.3%
2位	その他の心疾患	111,452千円	6.1%
3位	高血圧性疾患	89,598千円	4.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,670人
2位	その他の消化器系の疾患	1,646人
3位	屈折及び調節の障害	1,569人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	679千円
2位	白血病	469千円
3位	血管性及び詳細不明の認知症	377千円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	573件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	31.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	真菌症	14,114千円
2位	熱傷及び腐食	7,747千円
3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,007千円

以下は、平成25年度から平成29年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成25年度	1位	循環器系の疾患	303,019千円	19.2%
	2位	新生物<腫瘍>	230,722千円	14.6%
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	155,600千円	9.9%
平成26年度	1位	循環器系の疾患	266,799千円	15.8%
	2位	新生物<腫瘍>	248,179千円	14.7%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	175,822千円	10.4%
平成27年度	1位	循環器系の疾患	280,989千円	15.2%
	2位	新生物<腫瘍>	276,562千円	15.0%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	195,082千円	10.6%
平成28年度	1位	循環器系の疾患	351,296千円	18.7%
	2位	新生物<腫瘍>	267,418千円	14.2%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	179,356千円	9.5%
平成29年度	1位	循環器系の疾患	341,113千円	18.7%
	2位	新生物<腫瘍>	287,074千円	15.8%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	169,966千円	9.3%

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成 25 年度	1位	高血圧性疾患	103,444千円	6.5%
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	76,164千円	4.8%
	3位	糖尿病	75,682千円	4.8%
平成 26 年度	1位	高血圧性疾患	99,078千円	5.9%
	2位	糖尿病	77,272千円	4.6%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	76,663千円	4.6%
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	109,457千円	5.9%
	2位	高血圧性疾患	101,144千円	5.5%
	3位	糖尿病	86,128千円	4.7%
平成 28 年度	1位	その他の心疾患	92,905千円	4.9%
	2位	高血圧性疾患	91,166千円	4.8%
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	86,258千円	4.6%
平成 29 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	113,876千円	6.3%
	2位	その他の心疾患	111,452千円	6.1%
	3位	高血圧性疾患	89,598千円	4.9%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 25 年度	高額レセプト件数	423件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	26.3%
平成 26 年度	高額レセプト件数	453件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	26.0%
平成 27 年度	高額レセプト件数	530件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	29.7%
平成 28 年度	高額レセプト件数	594件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	33.6%
平成 29 年度	高額レセプト件数	573件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.8%

【高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向】

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの 医療費
平成 25 年度	1位	くも膜下出血	8,727千円
	2位	脳内出血	6,424千円
	3位	結腸の悪性新生物<腫瘍>	6,243千円
平成 26 年度	1位	その他の神経系の疾患	8,684千円
	2位	その他の精神及び行動の障害	8,230千円
	3位	腎不全	5,347千円
平成 27 年度	1位	くも膜下出血	10,124千円
	2位	その他の精神及び行動の障害	7,371千円
	3位	ウイルス性肝炎	6,732千円
平成 28 年度	1位	その他の感染症及び寄生虫症	9,860千円
	2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,161千円
	3位	慢性閉塞性肺疾患	7,249千円
平成 29 年度	1位	真菌症	14,114千円
	2位	熱傷及び腐食	7,747千円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,007千円

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 課題と対策

#### (1) 特定健診の受診率から見えてくる課題

特定健診の受診率は経年で上昇し、県平均より高く、平成29年度の市町村順位は県内第10位です。しかし、特定保健指導実施率は平成27年度より減少傾向にあり、国の目標である受診率70%、特定保健指導率45%には達していません。

生活習慣病予備軍の早期発見、生活習慣改善に係る知識の普及や受診勧奨、特定保健指導を行うには、特定健診の受診率の向上を図る必要があります。

#### (2) 医療費分析等から見えてくる課題

①大分類による疾病別医療費統計では平成25年度から平成29年まで循環器系の疾患が1位を占めています。

②中分類による疾病別統計、医療費上位では平成25年度より循環器系の疾患である高血圧性疾患・その他の心疾患の2疾病が上位に入り、内分泌、栄養及び代謝疾患である糖尿病は各年度とも上位5位以内に入っています。腎不全においては、平成29年度4位と過去からも順位の上昇がみられ、医療費や医療費割合の上昇も認められました。

③生活習慣病にかかる医療費分析を見ると、糖尿病、脂質異常症、高血圧症などは患者数が多く、1人当たり医療費は低いのに対し、生活習慣病が重症化し、進行して発症したと思われる脳内出血、脳梗塞、腎不全は高額な医療費が発生しています。

④県内近隣9市町との被保険者一人当たりの医療費順を見ると、本町が1位または2位である傾向が続いていることがわかりました。特に調剤費について一番調剤費の低い町と比較して1.6倍程度の開きがあることがわかりました。

以上のことより、生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、糖尿病の段階での疾病コントロールが重要であります。また、糖尿病より腎不全に移行し透析の導入を回避するためにも、糖尿病で医療機関にかかりながらもコントロール不良の対象者に対して、医療機関と連携した糖尿病性腎症重症化予防の保健指導介入が必要であります。また、一度指導を行った対象者に対し、改善された生活習慣が継続されているか検査値の変化がどうなっているかといった保健指導後の対象者へのフォローのために糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業を実施することが重要です。その他、調剤費の適正化を図るため、併用禁忌情報の共有、多剤通知、残薬バッグの普及促進など薬に関する事業を実施する必要があります。

## 対象となる事業

- ① 特定健診・特定保健指導事業
- ② 健診異常値放置者受診勧奨事業
- ③ 糖尿病性腎症重症化予防事業
- ④ 糖尿病性腎症重症化予防継続サポート事業
- ⑤ 調剤費適正化事業【新規】



# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

以下は、第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を示したものです。

事業名	事業目的	事業概要およびプロセス	ストラクチャー 実施体制
特定健診・ 特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病予防	特定健診の未受診者に対し、過去の検査結果を記載した通知書を送付し特定健診への受診勧奨を行う。	王寺町 国保事務支援センター
健診異常値放置者 受診勧奨事業 (イエローカード)	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで医療機関への受診勧奨を行う。	王寺町 国保事務支援センター
糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病重症化予防	特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職により対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行う。  指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。	王寺町
糖尿病性腎症 重症化予防 継続サポート事業	糖尿病性腎症重症化予防指導を受けた方への継続フォロー	糖尿病性腎症重症化予防指導を受けていただいた方を対象として保健師が年3回程度を目処に電話サポートを行う。  電話では健康状態・生活習慣の確認の他、特定健診・健康診査等の受診勧奨、保健センターの事業への参加呼びかけ等を行う。	王寺町
調剤費適正化事業 【新規】	被保険者の多剤服薬等の見直しによる調剤費の適正化	多剤服薬が疑われる方に対して、通知または残薬バッグを配布する。	王寺町 国保事務支援センター

アウトプット		アウトカム		評価方法
2020年度	2023年度	2020年度	2023年度	
<p>～特定健診～ 通知対象者のグループ分けは最適か</p> <p>対象者への通知率 100%</p> <p>～特定保健指導～ 対象者への声かけ率 100% (保健指導の対象となった方へ何らかの形で必ず連絡を取る)</p>		<p>健診受診率 50.1%</p> <p>保健指導実施率 44.0%</p>	<p>健診受診率 60.0%</p> <p>保健指導実施率 60.0%</p>	法定報告で確認
		※第3期特定健康診査等実施計画より		
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>対象者への通知率 100%</p> <p>通知後の受診状況を確認できたか</p>		<p>対象者が前年度よりも減少しているか</p>		レセプトデータで確認
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>指導実施者のうち、指導プログラムを最後まで継続できた方の割合80%以上</p>		<p>&lt;指導プログラム完了後&gt; HbA1cの値が改善されたか</p> <p>eGFRの値が維持または改善されたか</p> <p>生活習慣(BMI)が改善されたか</p>		対象者の指導前、指導後の検査値で確認
<p>指導後の患者へ連絡をし状況を確認できたか</p>		<p>指導プログラムを最後まで継続された方のうち、人工透析に移行される方が0人</p>		電話サポート時の聞き取り状況で確認
<p>事業に最適な対象者が抽出できたか</p> <p>対象者に応じた対応ができたか</p>		<p>対象者の多剤服薬等の状況が改善されたか</p>		レセプトデータで確認